

## 市指定文化財<無形民俗>

### あながわよかぐら 穴川夜神楽

指定日 昭和49年6月28日

所在地 菊池市班蛇口(穴川)



穴川は市の北限、大分県境に接する迫間川上流域の班蛇口地区にある山村で、江戸時代には豊後国境に備えて口番が置かれていた。この集落のほぼ中央、中津江往還脇に菅原神社があり、寛延4年(1751)創建されている。

穴川夜神楽はこの神社の祭日の1月5日に奉納されている。神楽の構成は、榊の舞、御幣、二剣、四剣、弓、弓剣、練り、歌神楽、奉剣、鬼神の舞の十座からなる。肥後神楽系で地元保存会の青年たちにより舞われる。烏帽子に白装束、紺の狩衣に白足袋の神職風の舞い手が笛・太鼓に合わせ、1～4人で左手に榊・剣・弓、右手に鈴を持ち舞う。鬼神の舞では2m程の竹の先に付けた御幣を観客が奪い合い、無病息災のお守りを手に入れようとする。

古老の話によると、一時途切れた時期もあったが、今からおよそ70年前、現在山鹿市菊鹿町大林より伝授され復興したという。